

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

「シアトル中学生来町」

7月3日（水）から5日（金）の2泊3日の日程で、シアトルの中学生が来町しました。この訪問団は、日南町の小中学生が3月に訪問したシアトルで日本語を学んでいる生徒24名、引率の先生4名からなるものです。2週間に渡る日本訪問で、東京、日光、京都、松江を回り、日南町へとやって来ました。日南町での3日間を紹介したいと思います。

7月3日（水）

松江を出発した一行は、お昼にやくもで生山に到着しました。到着後、まずは道の駅にちなん日野川の郷に行き、昼食を取ったり、買い物や休憩をしたりしました。



その後、宿泊先であるにちなん邑に向かい、荷物を部屋に入れた後は、研修棟で寄木細工に挑戦しました。講師は白谷工房の中村さんです。説明を聞いた後、一人一人が木材を組み合わせて作りたいデザインを決め、ボンドで接着します。中村さんに大まかに削っていただいた後は、自分でやすりをかけてさらに磨いていきます。最後には穴を開けて紐やゴムを通し、ネックレスやヘアゴムに仕上げていきました。出来上がった作品を早速着けている生徒もあり、とても気に入ったようでした。

夜には、神光社の皆さんに日南神楽「大蛇退治」を披露していただきました。神楽を知っている生徒や先生はほんの僅かでしたが、大蛇などの舞いや囃子で神楽の魅力を味わっていたようです。また、その後、衣装を着る体験もさせてもらい、生徒たちはとても喜んでいました。



7月4日（木）

この日は、朝から多里の常福寺に行き、座禅体験です。住職の井上さんから座禅について説明を受け、座禅がスタートしました。慣れない姿勢で座禅をするのはかなり大変そうでしたが、雨音や鳥のさえずりが響く静寂の中、座禅の魅力を感じることができたようで



す。また、座禅の後には抹茶と和菓子も味わってもらいました。

その後、日南小学校・中学校へと移動し、午前中は小学校で、午後は中学校でそれぞれ交流を行いました。小学校では「七夕集会」をみんなで楽しみ、その後、各学年で外国語活動などの学習を行い、交流を深めました。中学校では、給食を一緒に食べ、各学年で書道や折り紙などの体験活動をしました。短時間の交流でしたが、お互いに別れを惜しむ様子もあり、交流の意義を感じられる光景でした。



夜にはウェルカムパーティーを開催し、参加者全員でバーベキューや会話を楽しみました。3月にシアトルに行った生徒も全員が参加し、ホームステイ先の生徒との再会を喜び合っていました。また、源流大鼓のみなさんに演奏を披露していただいたり、シアトルの子どもたちに太鼓を叩かせていただいたりして、楽しいひと時を過ごすことができました。



7月5日（金）

いよいよ日南町を離れる日となりました。この日は京都に行くため、生山から8時のやくもで岡山に向かいます。翌日には関西国際空港からアメリカへと帰国することになっており、2週間分の荷物やお土産を詰め込んだ重たいスーツケースをトラックに積み込んで、生山駅に行きました。駅では、教育委員会などの関係者で見送りましたが、生徒たちは日本語で「お世話になりました。」などと挨拶をしてくれました。僅かな時間の滞在でしたが、日南町の魅力をしっかり感じてくれたものと思います。

滞在中、お世話になった関係者のみなさん、本当にありがとうございました。

